健全で豊かな森林づくりプロジェクト　フォローアップ委員会　自己評価シート

プラン名	王子・川浦の森プロジェクト			作成日	H23 年 11 月 16 日
実施方法	□ 単独　☑ ＪＶ	所属	王子木材緑化株式会社	記入者	佐藤　裕之

プロジェクトの対象・目的・内容

対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）
王子製紙・川浦山林及び周辺民有林	川浦山林を核とし、周辺民有林を団地化する。

事業内容（どのような方法で、何を行うのか）

基幹作業道を開設し、車両系と架線系高性能林業機械を併用し、生産性の高い伐出システムを構築する。そのため、団地化を行い施業を集約化し、また事業量を確保し、高性能林業機械の稼動率向上を図る。
さらに資源充実による採算性向上等を視野に入れ、広葉樹林、アカマツ林も、生産林（パルプ材、燃料用材等）として区分し、活用する。

事業期間	平成 22 年度　～　平成 26 年度（　5　年間）					
事業費　／　年度	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額（平成22年度決算）　※職員人件費を除く					
	森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	治山関係	保安林整備関係	その他
予算執行額（千円）	21,100.0					
財源内訳　国・県費	21,100.0					
市町村費						
一般財源						
その他						

事業実績

	成　果　指　標	単位	２２年度 計画	２２年度 実績	２３年度 計画	２３年度 進捗
①	施業集約化	ha	574.0	550.0	57.0	0.0
②	植栽	ha				
③	下刈・除伐	ha				
④	切捨間伐	ha	8.0	0.0	12.0	0.0
⑤	利用間伐	ha	5.0	1.1	17.0	0.0
⑥	主伐	ha				
⑦	作業道開設（延長）　W= 3.0 ／ 3.6 m	m	0 ／ 2,900	／	1,800 ／ 5,200	／
⑧	作業道開設（開設コスト）　W= 3.0 ／ 3.6 m	円／m	3,000 ／ 14,000	／	3,000 ／	／
⑨	木材生産量（モデル団地内）	㎥	620.0	23.0	1,300.0	430.0
⑩	木材生産量（モデル団地外）	㎥	5,000.0	0.0	5,000.0	0.0
⑪	木材生産性	㎥／人日	5.7	－	5.7	－
⑫	木材生産コスト（伐採～積込まで）	円／㎥	9,000.0	－	9,000.0	－
⑬	高性能林業機械導入	台				
⑭	伐採専門チーム養成	チーム				
⑮	林業経営に必要な基礎的知識の習得及び研修成果の水平展開	回数	必要に応じ	研修会出席(4回)	必要に応じ	0
⑯	作業路開設技術の研修会開催	回数	必要に応じ	0	必要に応じ	0
⑰	伐出システム研修会の開催	回数	必要に応じ	0	必要に応じ	0
⑱	間伐実施による水源涵養機能への影響調査	回数	濁度計の設置	1	濁度計の設置	調査実施中
⑲	施業集約化のためのﾘｰﾌﾚｯﾄ作成、森林組合の広報掲載	回数	必要に応じ	0	必要に応じ	0
⑳	モデル林を設置し、周辺住民に森林整備の普及・啓発	回数	必要に応じ	座談会の開催5回	必要に応じ	現地説明会の開催2回
(21)	国有林との森林整備のための覚書・協定書の締結	件数		実績なし		実績なし
(22)	王子森プロ運営委員会の開催	回数		実績なし	月に一度	5回（進捗管理会議を兼ねる）
(23)						
(24)						
(25)						

補足説明

1 達成度

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	☐ 実施されている	☑ 一部未実施	☐ 実施されなかった
当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	☐ 達成した	☑ 一部達成した	☐ 達成しなかった
進捗管理（定点観測等）は実施されているか	☑ 実施されている	☐ 一部未実施	☐ 実施されなかった

補足説明：作業道開設に地元住民及び漁協の承諾を得る事と、保安林作業許可の取得に時間を要し、着工が遅れた。また、施工上も丸太組工の増加、岩盤の露出等により施工が困難を極め、完成が大幅に遅れた。

【 委 員 評 価 】

コメント：・別添フォローアップシート参照

2 成果

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
木材生産の拡大が図られているか	☐ 図られている	☑ 一部図られている	☐ 図られていない
森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	☐ 大いに確認できる	☑ 一部確認できる	☐ 確認できない
山地災害発生を抑止する工夫ができたか	☐ 工夫できた	☑ 一部工夫できた	☐ 工夫できなかった

補足説明：作業道開設の遅れから、それを利用する間伐が未実施のため、作業道支障木の木材生産にとどまった。
作業道においては、法面保護のため多機能シートの施工、また、作業道下部に丸太の土留め柵を施工するなど災害防止に努めている。

【 委 員 評 価 】

コメント：・別添フォローアップシート参照

3 効率性

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
コストや業務量に見合った成果が得られたか	☐ 得られた	☐ 一部得られた	☑ 得られていない
効率的な実施体制で推進されているか	☐ 推進された	☐ 概ね推進できた	☑ 推進できていない
積極的に民間活力を活用しているか	☐ 活用できた	☑ 一部活用できた	☐ 活用できなかった

補足説明：作業道開設を地元建設会社へ発注。

【 委 員 評 価 】

コメント：・別添フォローアップシート参照

4 妥当性

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	☐ 反映している	☑ 一部反映している	☐ 反映していない
プロジェクトの計画内容（箇所･時期等）は適当であったか	☐ 適当であった	☑ 一部適当でなかった	☐ 適当でなかった
期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	☐ 養成された	☑ 一部養成された	☐ 養成されていない

補足説明：作業道開設ついて地元説明会を５回、現地説明会を２回開催。関市と水道取水地に対する作業道開設の影響を協議。共用停止となっている市道の廃道の協議を実施。

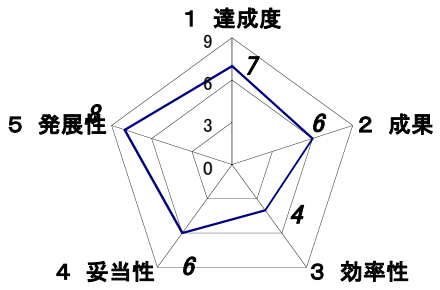
【 委 員 評 価 】

コメント：・別添フォローアップシート参照

5 発展性	【 自 己 評 価 】			
	配点	３点	２点	１点
	関係者(住民･所有者・従事者）の満足度は向上したか	☐ 向上した	☑ 一部向上した	☐ 向上しなかった
	選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	☑ 対応できた	☐ 一部対応できた	☐ 対応できなかった
	上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	☑ 余地がある	☐ 一部余地がある	☐ 余地がない
	補足説明	地域住民の要望による説明会の開催（２回）		
	【 委 員 評 価 】			
	コメント	・別添フォローアップシート参照		

自 己 評 価（集計）

評価集計	１ 達成度	２ 成果	３ 効率性
	7	6	4
	４ 妥当性	５ 発展性	合計点
	6	8	31
	総合評価	B	



総合評価：Ａ＝現状維持　　Ｂ＝充実・拡大　　Ｃ＝要改善

（配点区分：Ａ＝４５～３６点　　Ｂ＝３５～２６点　　Ｃ＝２５～１５点）

補足コメント	地域住民との調整が難航しているため、一部作業道開設に着手したが、対計画では大幅の遅れとなっている。 作業道開設後、間伐に着手していくとともに、引き続き地域住民との調整を図り、プロジェクトへの理解及び団地化への参加を促し、間伐・作業道開設事業に着手していく。

フォローアップ委員会による総評

推奨方針（案）	☐ 現状維持	☑ 充実・拡大	☐ 要改善
コメント	・別添フォローアップシート参照		